

児童室だより No. 91 (2015. 4発行)

読んでみませんか 児童室がえらんだものがたり・ちしきの本

本の情報	内容
<p>『ルウルウおはなして』</p> <p>たかどの ほうこ 作・絵</p> <p>岩波書店 2014.11 【小低～小中】</p>	<p>小さな女の子のルウルウは、お話を作るのが大好きです。子ども部屋の人形たちもルウルウのお話をいつも楽しみにしています。なぜって？それはお話の中に必ず自分たちが出てくるから。今日もルウルウのお話が始まります。最初は双子の人形さくらんとぼんぼんのお話、二人は実は島の本になっていた双子のさくらんぼだったんですって！三つの楽しいお話がルウルウによって語られます。途中でどんなお話にしようか考えている様子も微笑ましいです。</p> <p>(J913-幼-1110950823)</p>
<p>『ぼく、悪い子になっちゃった！』</p> <p>マーガレット・ピーターソン・ハディックス 作 堀川 理万子 絵 渋谷 弘子 訳 さ・え・ら書房 2014.11 【小中】</p>	<p>転校生のデクスターは、1日目から新しい学校が嫌いになっていました。朝からむしゃくしゃした気持ちになり、たまたまトイレで出会った名前も知らない男の子を何度もたいてしまいます。「自分は悪い子」と思ったデクスターは、作文の課題で「ぼくは乱暴者です」と書いてアボット先生に提出します。すると先生はデクスターに作文を書き直す課題を与えます。何度も書き直した後にできあがったデクスターの作文には、どんなことが書かれていたのでしょうか。</p> <p>(J933-ハテ-1110943936)</p>
<p>『コケシちゃん』</p> <p>佐藤 まどか 作 木村 いこ 絵 フレーベル館 2014.11 【小中】</p>	<p>くるみは小学4年生。夏休み前の1か月間、くるみのクラスにスイスから体験入学生が来ることになりました。どんな子が来るのかワクワクしていましたが、クラスに現れたのはどこから見ても純日本人、おかつば頭でコケシによく似た雰囲気和田口京(きょう)という女の子でした。くるみと京を中心に、日本とスイスの違いについて驚きや違和感を感じながらも、お互いの文化を理解し、心がつながっていく様子が楽しく描かれています。</p> <p>(J913-サト-1110953754)</p>
<p>『読書マラソン チャンピオンはだれ？』</p> <p>クラウドニア・ミルズ 作 堀川 理万子 絵 若林 千鶴 訳 文溪堂 2014.11 【小中～小高】</p>	<p>ある日、校長先生が学校で読書マラソンを開催すると言い出しました。全校で1番のクラスと各クラスで1番の子にはご褒美が、そして学校全体で2千冊読んだら、先生が自慢のヒゲをそるといのです！読書が大好きなケルシーは1番を目指してさっそく本を読み始めますが、クラスには手ごわいライバルが…。</p> <p>巻末では物語の中に出てくる本について紹介しています。この本を読み終えたら次はそちらにもチャレンジしてみてください！</p> <p>(J933-ミル-1110946446)</p>
<p>『言葉屋 言箱と言珠のひみつ』</p> <p>久米 絵美里 作 もとやま まさこ 絵 朝日学生新聞社 2014.11 【小高】</p>	<p>小学5年生の詠子は、おばあちゃんがやっている雑貨屋で不思議な言葉を耳にしました。「コトバコ」と「コトダマ」…二つの言葉に導かれるように、詠子は店の奥にある工房の扉を開けてしまいます。小さいころに「入ってはいけないよ」とおばあちゃんに言われていた工房、そこはおばあちゃんの本業「言葉屋」の工房でした。やがて詠子は言葉屋の見習いとして言珠(コトダマ)作りをおばあちゃんから教わります。一つ一つの言葉の大切さが物語から伝わってきます。</p> <p>(J913-クメ-1110950752)</p>
<p>『アラスカの小さな家族 バラードクリークのボー』</p> <p>カークパトリック・ヒル 作 田中 奈津子 訳 レウィン・ファム 絵 講談社 2015.1 【小高】</p>	<p>舞台はゴールドラッシュが終わりを迎えたアラスカの小さな町、バラードクリーク。5歳の女の子ボーには血のつながらない父さんが二人います。母さんはいません。ボーが赤ちゃんの時に置いて行ってしまったのです。それでもボーは二人の父親と鉱山で働いている鉱夫たち、そしてエスキモーの住民達に見守られて、明るく元気に暮らしていました。アメリカの児童文学賞の一つ、スコット・オデル賞を受賞した作品です。</p> <p>(J933-ヒル-1110974594)</p>

本の情報	内容
<p data-bbox="272 226 647 259">『たべものくらべっこえほん』</p> <p data-bbox="256 297 663 389">高岡 昌江 文 すがわら けいこ 絵 柳沢 幸江 監修 学研教育出版 2014.1</p> <p data-bbox="384 427 536 454">【小低～小中】</p>	<p data-bbox="716 221 1377 322">キャベツとレタス、みかんとなつみかん、天ぷらとフライとからあげ、アイスクリームとシャーベット…似ているけれどまったく別の食べ物だよね。それじゃあどう違うのか言えるかな？実際にくらべっこしてみましょう！</p> <p data-bbox="716 322 1377 427">この本では誰もがよく知っている食べ物をとりあげ、その違いをイラストで分かりやすく解説しています。ページの下には料理のレシピも載っていて、楽しくおいしく食べ物のことが学べます。</p> <p data-bbox="1145 461 1377 483">(J596-効-1110972526)</p>
<p data-bbox="248 517 671 551">『大津波のあとの生きものたち』</p> <p data-bbox="331 622 588 680">永幡 嘉之 写真・文 少年写真新聞社 2015.2</p> <p data-bbox="411 719 509 745">【小中～】</p>	<p data-bbox="716 512 1377 562">東日本大震災から4年、津波が襲った後の海岸を歩き、そこで出会った生きものたちの姿を追い続けた写真絵本です。</p> <p data-bbox="716 562 1377 719">震災直後はがれきばかりだった海辺でしたが、季節が巡り少しずつ生きものたちの姿が見られるようになっていきました。人間が砂浜の上に作っていたものがなくなったことで、ありのままの豊かな自然がよみがえったのです。しかし堤防や農地を元に戻す工事が進むと、再び生きものたちは消えてしまったのです。</p> <p data-bbox="1145 752 1377 775">(J462-ナカ-1110980822)</p>